

平成 1 9 年度
第 2 期 新南陽地区地域審議会
会 議 録

日 時 : 平成 1 9 年 9 月 1 9 日 (水)
場 所 : 新南陽公民館

【会 議 次 第】

- 1 開会
- 2 市民憲章唱和
- 3 市長あいさつ
- 4 会長あいさつ
- 5 議題
 - (1) 意見具申関係の対応状況について
 - (2) その他
- 6 閉会

平成19年度 第2期新南陽地区地域審議会 会議録

日 時 平成19年9月19日(水) 開会 17時00分
閉会 18時50分

場 所 新南陽公民館 3階 大会議室

出席者 ・委員 14名 (欠席 1名)

菊地 光雄、志賀 武男、伊藤 禎亮、吉村 伸一、藤井 道、
中山 哲男、林 保男、三坂 妙子、浅海 道子、福田 裕子、
山本 正之、多田 道馨、岸 義武、田村 美由紀

・島津周南市長

・事務局 7名

山下総合政策部長、中村企画課長、原田課長補佐、近森新南陽総
合支所長、原田支所次長兼地域政策課長、岡田課長補佐、三浦担
当主査

資 料 意見具申(2期)の項目とその回答

平成18年度意見具申関係への対応

会 議 議 事 録

1 開 会

2 市民憲章唱和

3 市長あいさつ(要約)

合併の検証委員会を作る約束をしましたが、一番地元のことを知っていらっしゃる地域審議会の皆さんにそれをお願いしたらどうかと思っています。

今回は提案ということで、新しいメンバーにそれをお願いしたいと考えています。

4 会長あいさつ

前回の2月9日に市の方から9項目の意見具申の回答についての説明をいただきましたが、回答書は残念ながら行政のまちづくりに対する意気込みが見えてこないものでした。

市長が交代されるということもあり、予算編成方針も見通しが立たないということで、新しい市長に代わったら、ゆっくり話し合いの場を設けて欲しいという意見でした。

第1期目より、第2期目の回答の方が、意気込み、行政のまちづくりに対する理念が回答書の中から見えてこないという感じを強く持ちました。

新南陽地区に関するリーディングプロジェクトについては特に、生涯学習を中心にした、誰が、いつまでに、どこで、何を、どのようにしてやる、というはっきりとした具体的な項目についての説明がないと、われわれ市民の立場では情報が少ないため、いわゆる「心の琴線」にふれるものがありません。

企画の立場にいる人は理念が先でそれに基づいてプロジェクトを考えていますが、逆の立場に立つと個々の政策があって、それが果たして我々の求めているものかどうかということだろうと思います。行政の回答の言葉不足もあるかもしれませんが、もう少し提案の意図を汲み取って、それに対する答えというものを前向きに考えていただきましたかった。

この後いろんな議論を通して、まちづくりに対しての新しい市長の意気込みと我々の持っている意見をすり合わせていけたらと思います。

市長　会長は紳士的にお話いただきましたが、市は何をしているかとお叱りをいただいたものと思います。私はしっかりやります。その代わり皆さんにお願いしたいのは、これだけはやってほしいという、優先順位をつけていただきたいということです。

1, 2, 3をまずやろう、残りは3年後、5年後にしましょうというように、予算がないので今年はだめだが、来年に向けて皆さんのお役に立つ施策をしたいと思っています。

5 議 事

会長　2月（前回の審議会）から半年経っており、その間の進展が期待される。事務局からその後の対応について話をしていただき、その後、9項目についての意見、質問を。また、地域審議会の役割は何であるかということも含めて、今後のまちづくりについて意見を述べてください。

それでは、その後の回答の経緯を事務局からお願いします。

事務局　意見具申関係の対応状況について、資料「平成18年度意見具申関係の対応」に基づき説明

学び交流プラザ整備事業の計画策定の推進について

生涯学習に確認。今年は教育委員会内に検討会議を設置する。10月初旬に行い、教育委員会としての整備方針、市民を交えたワークショップ等をどのような形で実施するかを協議する。

福川駅前周辺整備計画の早期着手について

整備後の駐車場の運営方法については、1週間は市の職員が駐車指導を、その後は地元ボランティアによる自主管理。

学校図書館司書の計画的配置について

19年度は何とか前年並みの予算を確保。

郷土の偉人・傑人の伝承および文化財の保全、保護について「ぶち自慢偉人コーナー」を広報に開設。

和田地区における医療体制の継続について

AEDについては7月に設置済。前回希望のあった血圧計については保健センターから持ってきている。

花いっぱい運動の新たな展開について

平成19年度は記載どおり。平成20年度以降については、葉牡丹等は苗を

継続して配付するが「はなてまり」は中止。その他、パンジーと5種類については種だけとなる。

遊休市有地等の有効活用と処分について
記載しているとおり

市民生活の安心安全対策について

4番目については、新たに防犯等設置補助特別補助金制度を制定し、枠をPTA等に応じた。新設についても1灯につき5万円と枠を拡大している。

5番目のバリアフリーの関係は、3月に周南市移動等バリアフリー基本構想を策定し、それに基づいて整備。

都市計画道路の計画的整備について

記載のとおり。中開作線については、特に、地元地権者と福川南小学校の育友会の方が現地踏査等を実施し、通学路の冠水等についてはポンプの運転水位を下げて、早めに運転するという対応。

委員 地域審議会のあり方が問われていますが、元々、行財政改革によって、安心安全な住みやすい街を願っているということで、この4年間いろいろやってきましたが、あるところは実現できたが、具体化がなかなか進まなかった。

確かに、9項目は多いといえば多い。3つくらいに絞って提案して欲しいということなので、今後引き継ぐ方は、皆さんでそれぞれ地域によって要望はあると思うが、リーディングプロジェクトで旧新南陽市では体育館が雨漏りをしている。そういう中で、一番初めの学び交流プラザの整備事業の計画策定ということをしてきた。ワークショップがこのたび教育委員会内に設置されると聞きましたが、それぞれの立場で言われていると思うので、そこを精査してこれから活かしていただきたい。

私は何を先行するかということを見ると、行財政改革によって安心安全な住みやすいまちづくりだと思っています。安全でない場所が多い。補正予算を組んで市民に開放するために市長公舎を改修するというのを新聞で読んだが、先行すべきことは何かということです。

合併の検証をこれからするということなので、合併によって何が失われ、何が市民生活にとってマイナスだったか、マイナスを何によってプラスにするか。市民全体の安心安全について実施していただきたいと願っています。

会長 「地域審議会のあり方について」と「安心安全のまちづくりについて」これに関連したことがありましたらお願いします。

委員 今回出した意見具申について先ほど回答を得たが、われわれが出した意見具申は本日で終わってしまうのか、これからも意見具申をしていかないといけないのか、この辺で中途半端な経緯で終わっていることについては、引き続き行政で考慮していただけるものなのか。

会長 安心安全のまちづくりについては、行政は自主防災組織ということを中心に言われているが、それはそれで自治会を中心として結構だと思います。しかし、安心安全というのは基本の基本なので、行政なり、市なり、県なりが一番先頭に立ってきちんとやっていただかなければいけない問題ではないかと思っています。その上で自主防災組織を活用して、タイアップしてやっていくというのが筋ではないかと思っています。

市長 私はしっかり受けてやります。ただ、全部やるのはキツイので、時間的なタイムラグを置いて欲しい。

安心安全のまちづくりですが、私は申し訳ないが会長と意見が違ふ。昨日鹿野で火災があったが、消防署からも行っていたが、やはりそこで頑張っていたのが消防団。こういうのを見ると、やはり、地域防災というのは自治会とか、自分のまちは自分で守るということを基本にしたい。ただし、行政も行かないといけないケースもある。

今、東西南北、一番早い所に行ける施策を今考えている。そういうのは行政だと思う。安心安全、基本ではきちんとやりたい。4年間、目に見えるものがない。だから、皆さんいらだっている。小さいけれどひとつひとつ、「あ、変わっているんだな」と。

新南陽もそうです、大きい事業を狙うか、小さい事業でどんどん行くかは別にして、皆さんの意見がどんどん入ってくる、戦略以前に個々の目に見えるかたちをやりたいというのは僕も同じです。できたら、具体的な事業であれば、われわれも具体的に答えていきます。しっかりと受け止めてやります。

委員 市長はポイントを絞ってといわれたが、私もそう思う。やはり、新南陽にとって一番大きな問題は、学び交流プラザ整備事業だと思う。この事業は合併協議の中で約束された事業。それが今まで放っておくということがおかしい。先ほどの説明では10月初旬にということだが、それならば今日の審議会までに素案を出していただきたかった。巷では、この事業が本当にできるか危惧している。財政難で見直しになるのではないかと、あるいは縮小されるのではないかとということをおかんに言っている。

この事業が合併協議の中で約束されている、これで合併ができたとは思っている、これを最重点に是非やっていただきたい。そして素案を早く出していただきたい。私たちもそれを検討してより良いものにしていきたい。

安心安全という言葉が出たが、市民病院における検診がよくない。今の状況は総合支所に行って申請するが早くて半年かかる。もう少し検診業務に力を入れてもらいたい。人間ドックの泊まりは、病院や老健施設を利用するなどすれば、病院の経営にもプラスになると思う。病院の人間ドック、検診業務を含めた充実を図って欲しい。

事務局 今、病院の話があったが、人間ドックが申請されて半年かかるという状況と、ホテルではなく病室を使えたらという話ですね。

手続きをして、半年かかるというのも分かりかねる。病院のベッド数の空き状況にもよるのではないかとと思うが。

市長 半年待つのではなく、半年後を今から申請すれば。受付の仕方が悪いのでは。申請して半年後では誰でも怒る。今から半年まで受付を中止し、それからスタートすれば毎日毎日受付ができる。

受付体制というのは病院の基本ですから、検討します。

委員 合併の検証の話ですが、ぜひ、この審議会を使った、合併の検証をお願いしたいと思います。

新南陽のナンバー1は(学び・交流)プラザです。長い間できなかった永源山公園の南エントランスの用地買収が完成した。南エントランスを踏まえたプラザ計画を旭上に上げていただき、見える形で一歩ずつ前に進めていただきたい。

永源山公園前の国道2号のアクセスが、あれから5年経ったが、現在、永源山公園の玄関口が叩き破ったままである。もう用地買収は済んでおり、やる気ならいつでもできるはずであるが、交差点の改良が未だにされていない。

また、昨年の条例改正により富田東小学校のスポーツ少年団の電気代が18万円上がった。スポーツ少年団の指導者は大変不満に思っている。使用料の夜間照明の見直しをしていただきたい。

市長 周南全域で光熱費が4万件、2,600万円かかっており、徴収費用の方が高いのでは。スポーツなどをして、お年寄りが1年長生きしてもらおうと市にとっては大きなプラス。子ども達も元気に育つ。もう少し幅を広げた格好での計算の仕方があるのではないかと思う。スポ少でも何でも、コーチなどは時間も自己犠牲でされているのに、当たり前のようにお金を払えというのは寂しいなと強く思っている。いい意味で早く検討します。

委員 合併して4年目になるが、2年目で新南陽警察署が廃止となった。交番もなくなり、安心安全は口先だけ。警察行政について細やかな対応を。

行財政改革の数値目標を持った情報開示を何度もお願いしてきた。市広報でも年に1回か出されるが、もっと具体的に、例えば体育協会をこうしたとか、退職金をどうしたとか、そういうのも行政改革だと思う。清掃業務の委託にしても、給食センターの委託にしても、こういう風にやったという、できたら数値目標も持った開示を、引き続き市広報でも結構なのでやっていただきたい。

市長がいくら動いても限界がある。2千人の職員を、別のチャンネルを持って動かすべき。行政管理目標を持たせる意識改革を。

市長 ここに来て驚いたのは、自己申告書ゼロ。ボーナス査定もゼロ。きちんと仕事をした人にはそれだけの評価をするように、人事面においても改善を図っていきたくて考えています。

委員 学校図書館司書の件について、合併前、旧新南陽市は子ども達の育成に力を入れていました。その一環として学校の整備、特に図書館の整備などに特に力を入れていたが、合併してその辺りがどんどん切り崩され、最終的に黙ってみたら図書館司書がなくなるのでは、という状況になりました。いきなり旧新南陽のレベルで市内全域は無理だが、市内全体として毎年徐々に計画的に拡大し、最終的には旧新南陽がやっていたような学校図書館をきちんと運営していくという体制を作りたいと思います。

市長 私は、学校図書館を考える会にずっと出ています。いろんな考えがあるが、51校全部に固定的に置いても、それはちょっと勉強しなくてはと思います。たとえばここならば、富田西には13,000冊ある。こういう大きなところは巡回型よりは、常駐型の資格のある人を置いていいのかなと思います。中型、小型のところも大きさに応じて、実験的にやってみたい。半年くらい勉強すれば、効果が分かります。

委員 今回の意見具申というのは、全部いっぺんにはできないので、どこかモデルケースで、まずは常駐の司書を置いてみて、実際どういうことができるのか試行をしてみてくださいというのがメインです。回答が18年度と同じレベルでやります、では・・・。

市長 まずはしっかり、実験的にやります。

委員 花づくりについて、花壇の世話を少しの予算をいただいて、みんながやりやすいような方法を考えて欲しい。新南陽市時代は苗はもらってやっていた。来年度になってパンジーはやめるといわれても、色でデザインするので、うまくいかないのでは。

市の助成が減少して、ボランティアの意欲も減少している。

市長 わかりました、今までの行政は簡単に1割カットし、いかにも公平公正とと思っているが、これは大間違い。私は、一番たくさん使っているところを大胆に15%くらいカットし、今みたいなどはカットしない。普通の会社はみんなそうやっているが、なぜこの市は一律カットかと思う。大丈夫です、しっかりやらせてもらいます。

委員 公民館と図書館の間にグリーンベルトがある。あそこは2年前は、ボランティアの方の手によりきれいな花壇だったが、今は草が生えている。なぜかという、苗の配付をやめ、種で植えてくださいということで、種にしてみたが実際は全然だめになってしまい、ボランティアの人も意欲をなくしてしまった。とてもみっともない状態になっている。

山口国体も2011年に控えており、周南の街をきれいにしたいという話が先日スポーツセンターで出たが、花を育てるということは、ボランティア仲間の絆を深めるということにもつながっている。一生懸命やっておられる方の事を考え、もう少しきめ細かにやっていただきたい。

市長 わかりました。私のほうで検討しましょう。花がないような街はだめだと思う。予算を作り、しっかりやらせます。約束しますので、ぜひとも花壇をたのみます。

委員 先ほど市長も絞って言えといわれたが、私は和田地区におりますが、一番目に掲げている「学び交流プラザ」を是非やってもらい、交流の場にしていただきたい。

おかげで、来年度は公共下水道がくると期待している。一戸当たり700万円かかるので100万円程度の合併浄化槽で良いのではという議会での一般質問もありはしたが。

もう一つは医療問題、診療医の高齢化の問題。

市長 お医者さんが山口大学を出た後、今までは地元優先だった。今は卒業生の個人の自由で、どこでも行かれる。格差是正以前の問題。中山間エリアのお医者さんがここ2、3年でいっきに半分くらいに。だから対応を取りたいが、国の方針を変えてもらわなければ。いずれにしろ、早急に対応します。和田がひとつの大きな問題というのはよく分かります。

委員 今後のことについて。行政マンになりきらず、今の状態をずっと保ってされるように、その間に一つずつできることが大事なのは。10の目標を立てるより、ひとつの実行の方が大事。それと順位の問題、今の熱意で迫力を持って、説得力と民間の経営判断で行政を打破してもらいたいと切に願います。

委員 あくまでも周南市全市的な目線で。地域のエゴではなく周南全体にそれぞれ特色がある。市長は全市的な目線でやっていただきたい。私たちも、自分の地域さえよければいいという発想ではだめだと思う。

市長 ひとつお話ししたいのは、徳山にいろんな施設を集めては駄目。例えば、交流プラザなんかも周南全部の中で一番イイやつをここに持ってきてくださいというような説得材料にしないと、新南陽にお願いしませうは駄目。そういう発想で新南陽にもって来ようというような仕掛けをしたいと思う。

それと新南陽総合支所長。すぐやる総合支所のために権限と予算、人材が必要となります。併せて今後総合支所への適切な権限と予算、人の配分を検討していきたいと思います。

委員 今、市長がおっしゃったように、周南市全体を考えて合併協議会で約束

された事業ですので、これを1本に絞って実現する。

山口市の渡辺市長さんだけが、各総合支所に予算を渡しています。他の市町は一銭も渡していない。これはすばらしいなと思いました。合併して総合支所には予算がない。総合支所に予算を渡すことをぜひ、実現していただきたい。

市長 体育館の電気料をとらないで自販機を置きその収入を充てるという方法もあります。金がかかるから取るという安易な考えではだめだと思う。少し知恵を出さなければ。私も出しますが皆さんにもいろいろ教えていただきたい。

ごみを減らすのは有料化しかない。一律的にごみの袋を40円くださいというのでも情がない。びっくりしたのは、ごみ袋にある色素を入れるとカラスが近寄らない。有料化するのなら、そういうのも含めて考えなくてはいけない。しっかり考えていきます。

委員 遊休私有地について。周南市になる前、長田には県の青少年活動センターが何かを造る申請をしているという話を聞いていた。今回確認したら県の青少年活動センターはありますよとおっしゃった。県の活動センターを作りましょうという文字が全然ないので、会議の時、そういう案はありますとだけ言われて、それからのいきさつも全然ない。ぜひとも、次年度もそういう話も含めながら遊休地の問題をやっていただきたい。

8点目の4番目の項目で防犯灯設置というのがあります。今回助成ができるということが書いてあるが、以前、聞くところによると防犯協議会が半分出し、半分は自治会が出すということ、市ではなく他の会議で聞いていた。今日、見てみると、すぐに助成しますというのが出ているが、どういうことなのか。防犯街路灯というのは、自治会に置いている道路に建っているものですよね。また別のものなのでしょうか。

事務局 防犯灯については自治会が通常はみえています。今回は、これ以外の自治会と自治会の境につける防犯外灯についてどうするかという問題だったと思う。それについては、通常だったらそれぞれの自治会が申請するが、今度は子ども会などでも申請できるということになった。防犯協議会ではなく、市に申請してもらえれば5万円までの助成はするという新しい制度がこの4月からできた。

青色の防犯灯がイギリスのほうで犯罪が起りにくいということで、櫛浜、桜木は青色の防犯灯を使っています。

委員 この3月まで南小スポ少のサッカーの団長をしていたが、新しい団長がナイターの練習を半分減らしたと言っていた。コーチはボランティアなので、指導者料を払っていないので全部保護者負担。真っ暗で学校で練習しているという。以前、柔道の団長をしていた事もあったが、ふれあいセンターの道場を使ってタダだった。この4月からはクーラー代を出さなくてはいけなくなり、お金がないからクーラーを切らないといけぬ。網戸がないので蛾が入ってくるが仕方ないので窓を開けてやっているという話をしていました。この4月から照明代が倍に上がったとも言っていました。両方の団長が、お金がないと不満を言っていました。

市長 皆さんが一致団結して4つの地域審議会がスポ少や子ども、高齢者についてはゼロにしてくれというなら、私もそのことについて検討していかなくてはいいけません。

委員 1割り増しならまだしも倍になると言われると、保護者の方もそのお金はどこに行くのという感じになります。

新南陽の4校にはランチルームがある。私は徳山で育ったので、食堂があることに驚いた。また、新南陽は食器がとてもいい。新南陽はとても恵まれており学校やスポ少など、いろいろなところにお金をかけているんだと思い、学校や施設が充実して子どもを育てるにはいい環境で育てられた。

今、若いお母さんが合併して何かメリットがあったかという話になった時に、水道だけ上がったねという話になった。先ほど、目に見えてと言われたが、若いお母さん方は理念などはあまりわからない。目に見えて、ここが変わったというのがないと、合併した意味がないという話をしています。

市長 これは全部の市に関係することなので地域審議会としてやろうという、われわれはそういう力が欲しい。

本当にやりたかったら提案していただいて、地域審議会の皆さんは代表ですから。そうすると動きますよ。

委員 大きい町になると権力が遠くに行ってしまうのは仕方がない。それをフォローする体制として徳山地区では32コミュニティ団体が整備されている。新南陽では自治会制度。しかし、行政のほうもあまり頼りにしないというか、自主防災組織もあるが、先ほどのごみの件ではないが、自治会とイコールの収集システムである。新南陽の時は秋には河川一斉大清掃があったが周南市になってなくなった。市民のボランティアで全自治会が一斉に活動。職員の時間外手当が多すぎてブーイングが起きてやめたと、われわれ一般市民は聞いています。

事務局 それは違います。そうではなく、大量のごみの受け入れができなくなったのが理由です。以前はN6で処分していたが、今はなくなったので。

委員 自主防災組織にしても、自治会というのはパワーを持っている。活用すれば行政とすれば非常に利便性がいい。一方、最近コミュニティが希薄になって、勤労体験学習というか、汗水たらしながら花いっぱい運動をやるとか、それを自治会がやるとすごい。8月11日に自治会が中心になって初めてやった。自治会はけっこう力を持っており、そういった意味で自主防災組織の育成にしろ、行政からどんどん仕事を投げてもらいたい。そこで、地区のコミュニティなど、流通のパイプ役として特に自治会の活用を。

実験的でも委員を委嘱するなどすれば一生懸命やる。地区の自治会組織を上げていただく作戦を考えていただきたい。

市長 横文字を使ってはだめです。もう一回見直して本当に力があるところ、やっぱり自治会が中心になってやった方がというなら見直していきます。結論ではないのですが。

委員 2年間の任期が終わるが、図書館司書の重要性について何が大事かというところまで皆さんに伝わってなかったと思う。

障害者福祉について、審議会委員の中に障害者も入れて欲しい。

市長 障害者の方全部の団体と1ヶ月前やった。山のような情報で、団体のトップで派閥もあると思うが、まとめてきてくれと。全部やれというとな健常者の中で大騒ぎになる。11月に要望書の中で、市としてはこれとこれを優先したらいいと思うがどうですか、というやり取りをする。だから、そこでやられた方がいいと思う。入っていただいても、これはこれでいいと思うのだが。

委員 県の事業で周南地区に産業会館を造ることが、随分前から言われていた。予算的には約150億円。これが現在でていない。私が思うに、県が思っているような市町村合併が進んでいないからだと。2市2町が合併するとき、

この合併は先行合併と言われた。具体的に言えば、将来は下松と合併するんだということと言われた。あるいは光も含めて。その合併について、現在どういう方向になっているのか。

今の産業道路と平行して港湾道路の建設が話題になっている。小郡から萩に行く道路が進んでいるが、その辺をひとつしてもらいたい。

市長　まず、産業交流会館。実は下松の県議が合併を頑張るから下松にくれと騒いでいるが、産業交流会館や交流センターよりもっと迫力のあるバルク港。日本で1番の港になるように今やっています。これがうまくいけば、12月から予算が通れば日本でナンバー1の港ができる。港がOKになったら、国や県と協力して、道路をはじめとした周辺整備をする1つの取っ掛かりができます。そういう仕掛けをしなくては駄目です。

東アジアで三本指に入る天下の名港になる。そういう面でも、産業道路や交流会館も作らなくてははいけません。